

毎年4月から6月は「狂犬病予防注射月間」です。
 年1回の飼い犬への予防注射は、法律で義務付けられています。
 飼い主の皆さんは、以下の日程で各会場で注射を受けさせるか、6月末までに動物病院で受けさせてください。
 高齢や病氣中の飼い犬については、動物病院に相談してください。

動物

注射は大切なルールです
忘れないで！「狂犬病予防注射」
 問い合わせ 環境課 増田 ☎(53) 2609

期日	時間	会場
4月4日 日	9:00~10:00	牧之原区民センター(島田信用金庫横)
	10:30~12:00	トーク地頭方
4月5日 金	9:00~10:00	勝間田会館
	10:30~12:00	坂部区民センター
4月8日 木	9:00~11:30	榛原庁舎北側駐車場
4月9日 木	9:00~11:30	相良庁舎史料館前駐車場



- 【持ち物】**
 ①予防注射の案内はがき（登録のある犬に送付されます）
 ②愛犬手帳
 ③料金3,400円（注射料金2,850円+注射済票交付手数料550円）
 *会場での注射が困難な犬（噛み癖など）は動物病院で注射を受けさせてください。
 *新しく犬を飼い始めた人は登録料3,000円が別途必要です。
 *おつりのないようお願いします。

地域

市内3地区目、相良地域では初めての導入
デマンド乗合タクシー「すげやま号」出発！
 問い合わせ 地域振興課 増田 ☎(23) 0041



森田定 菅山区長(左)から運行事業者の榛南交通㈱に花束贈呈

利用者の予約に応じて目的地まで運行するデマンド(予約型)乗合タクシー「すげやま号」の出発式が2月1日、菅山区公民館で行われました。
 すげやま号を利用できるのは、菅山区に居住する75歳以上の高齢者や自動車運転免許を持っていない人、障がい者、要介護・要支援認定者、妊婦などで、1月末現在で62人が会員登録しています。
 運行は毎週火・金曜日の週2回で、会員登録した人の自宅と病院



式典であいさつをする横山副市長

やスーパーマーケット、公共施設などの特定施設を結びます。
 すげやま号は、平成29年10月に導入された「さかべ号」(坂部区)導入された「さかべ号」(坂部区)平成30年10月に導入された「かつまた号」(勝間田区)に続く市内3地区目、相良地域では初めての導入となります。
 横山副市長は式典で「これから皆さんにたくさん利用していただき、改善しながらより良い乗合タクシーにしていきたい」と話しました。

市民

利用にはマイナンバーカードが必要
証明書などのコンビニ交付サービスを開始しました
 問い合わせ 市民課 長尾 ☎(23) 0021



マイナンバーカードを利用して住民票の写しを取得した杉本市長

市ではこのたび、マイナンバーカードを利用して、全国のコンビニエンスストアで「住民票の写し」と「印鑑登録証明書」を取得できるコンビニ交付サービスを開始しました。
 初日の2月1日には、杉本基久市長が市内のコンビニエンスストアで、自分のマイナンバーカードを利用して住民票の写しを取得するデモンストラレーションを行いました。
 杉本市長は「証明書などが取得できる場所と利用時間の拡大により、ライフスタイルに合わせて、簡単、便利に証明書を取得できる」と、コンビニ交付の利便性を強調した。
 また、コンビニ交付サービスにはマイナンバーカードが必要であることから「この機会に、できるだけ多くの市民にマイナンバーカードの取得をしていただき、行政サービスを利用してほしい」と呼びかけました。

マイナンバーカードを取得するには

マイナンバーカードの交付申請には、通知カードに添付されている

「個人番号カード交付申請書」が必要
 交付申請書の記載事項(住所など)に変更があった人や、交付申請書を紛失した人は、市民課(榛原庁舎)または相良窓口課(相良庁舎)に問い合わせてください。
 マイナンバーカードは、申請から受け取りまで1カ月程度かかります。

詳しくは、通知カードに同封のパンフレットや「マイナンバーカード総合サイト」を確認してください。

健康

第2回まきはら健康大学
8020コンクール表彰式と口腔機能向上講演会を開催
 問い合わせ 健康推進課 山名 ☎(23) 0024

市では1月26日、第2回まきはら健康大学を榛原文化センターで開催しました。

8020コンクール

今年度は、80歳になっても自分の歯を20本以上保つ「8020」を28人が達成しました。
 中でも特に優秀と認められた3人が県のコンクールに推薦され、大谷正男さん(大沢区)が「8020財団理事長賞」を、萩原幾江さん(西萩間区)と須藤せつるさん(静波区)が「静岡県歯科医師会長賞」を受賞したことから、表彰式が行われました。



写真左から、静岡県歯科医師会の平井壽博会長、須藤さん、萩原さん、大谷さん

口腔機能向上講演会

表彰式後、静岡県歯科衛生士会の小粥江利子先生を講師に迎え、「健口は健康への入り口」オーラルフレイルが及ぼす、身体と心への影響」と題した講演会が行われました。
 小粥先生は、口腔機能の低下により体まで衰えてしまう「オーラルフレイル(口腔虚弱)」を予防するために今日からできる対策などを、自身の家族の体験談を交えながら講演。参加者は、口の健康について楽しみながら学んでいました。



体験談を交えながら講演する小粥先生(右奥)

商工

どんなお悩みでも気軽に相談してください
牧之原市ビジネスサポートデスク「まきサポ」を開設します

問い合わせ 商工企業課 山崎 ☎(53) 2647

課題の解決に向けて支援

市では、中小企業者、個人事業主、起業を考えている人などからのさまざまな相談を無料で受け付け、課題の解決に向けて支援する「牧之原市ビジネスサポートデスク『まきサポ』」を、4月12日(金)から開設します。
 経営改善や創業、事業承継や雇用確保に関するお悩みなど、どんなことでも気軽に相談してください。

中小企業者、小規模企業者など

【申込方法】

事前予約制です。指定の相談申込書に必要事項を記入の上、FAXまたは電子メールで申し込んでください。

申込書は、市商工企業課、市商工会、市内金融機関に置いてあるほか、市ホームページからもダウンロードできます。

【申込先】

商工企業課
 FAX (52) 3772
 E-mail: kisyo@city.makinohara.shizuoka.jp

「まきサポ」の概要

【相談日】

毎月第2・第4金曜日
 午前9時〜午後5時まで

【相談時間】

1件につき80分程度（1日4件まで）
 ①午前9時〜②午前10時30分
 ③午後1時30分〜④午後3時〜

【会場】

カタシヨー・ワンラボ（旧片浜小学校）南棟203会議室

【対象者】

牧之原市で起業を考えている人、すでに事業を行っている

県中小企業団体中央会、静岡県事業引継ぎ支援センターなど

【その他】

▼相談員には厳格な守秘義務があります。相談内容が外部に出ることは一切ありません。
 ▼1回で解決できない場合は、何度でも相談していただけます。
 ▼相談員のみで解決できない場合は、牧之原市商工会や連携機関に、責任をもって橋渡しをします。

<相談員紹介>

大石 徹 氏（中小企業診断士）

【得意とする分野】
 経営改善計画・事業計画・BCP・経営革新計画の策定支援、営業力強化、営業管理体制構築、マーケティング戦略構築、創業相談、M&Aアドバイザー、補助金申請支援 など

病院

組合立静岡岡中部看護専門学校
病院におもちゃを寄贈
 問い合わせ 榛原総合病院組合 森田 ☎(22) 9510

実習などでお世話になっている感謝の気持ちを贈ろうと、組合立静岡岡中部看護専門学校の学生が1月31日、榛原総合病院におもちゃを寄贈しました。

これは、昨年の学校祭「桂花祭」でのバザー売り上げの一部を使って購入したもの。この日は、桂花祭担当の藤ヶ谷弥さんと堀内美優さんが、小児科の金憲徳先生におもちゃを手渡しました。

榛原総合病院の森田信敏病院長は、「皆さんの気持ちを受け止め、これからは地域医療を頑張っていきたい」と話しました。

寄贈されたおもちゃは、小児科外来の待合室に置かれ、病院を訪れた子どもたちを楽かせています。



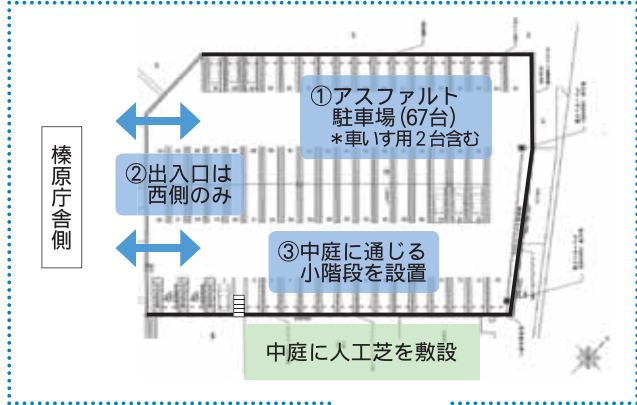
おもちゃを寄贈した堀内さん(左)と藤ヶ谷さん

施設

工事期間中のご協力ありがとうございました
榛原文化センターホール棟の解体跡地に駐車場が完成
 問い合わせ 社会教育課 鈴木 ☎(53) 2646

新しい駐車場は3月中旬から利用可能に

昨年8月から実施されていた、榛原文化センター「ホール棟」の解体および駐車場整備工事が完了し、駐車場が3月中旬から利用可能となります。
 工事期間中は、一部通行規制などにご協力いただきありがとうございました。



市民相談センターから見たホール棟跡地の駐車場



福祉

お年寄りに優しく、安心して暮らせる牧之原市に
川崎小学校5年生が報告文を作成
 問い合わせ 高齢者福祉課 福代 ☎(23) 0074

川崎小学校5年生は、「牧之原市はお年寄りに優しい町か」という課題を解決するため、高齢者福祉について学んできました。具体的には、▼祖父母の会の皆さんから昔の話を聞く▼高齢者施設でお年寄りとお話し▼車イスを使っていた高齢者体験▼腕や膝に重りを着けて体の動きを制限する疑似体験▼市と社会福祉協議会の職員を講師に招いて話を聞く—などのさまざまな活動をしました。

体験や学びを報告文に

2月8日に、5年生代表が市を訪れ、自分たちが高齢者福祉について感じたことや考えをとりまとめた報告文を市と社会福祉協議会に手渡しました。

報告文には、「昔の大変さがわかって、今安全に過ごせていることに感謝したい」「疑似体験をやってみて、高齢者だけでなく介護する人の苦労もわかった」「お年寄りを喜ばせてあげることもボランティアにつながり、元気にもつながる」などといった感想が書かれています。

また、「古民家風のデイサービスを造ってほしい」「介護ロボッ



各クラスの報告文



5年生代表が報告文を手渡しました

トを導入してほしい」といった提案もあり、子どもたちがお年寄りを思う優しさや考えがたくさん詰まったものとなっています。

大石弘子福祉こども部長は、「皆さんの思いや提案を読ませていただいて、高齢者がより安心して暮らせる住むことができる牧之原市となるように努めていきます」とあいさつしました。